広報しらか
環境問題特集

いま地球は救いを求めている！

心配な地球の温暖化

地球の温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊など、地球は今、様々なメッセージを私たちに投げ掛けています。この原因は、私たちが作り出している廃棄物（ごみ）から発生しています。そこで、一人一人が廃棄物を見直していただくために、環境問題特集を企画しました。

大きな環境問題に

地球は今、大きな環境問題を抱えています。この原因の大部分は、私たちの活動によって生み出される廃棄物（ごみ）が原因になっています。

私たちは、地球が無限に受け入れてくれると思っていた廃棄物が、大きな環境問題を引き起こすことによやく気づいたのです。それでは、どのような影響を与えているのか問題別に見てみましょう。

- 地球の温暖化
- 酸性雨
- オゾン層の破壊等

温暖化

われている地球上の野生生物は、自然が培ってきたプロセスの中で長い時間をかけて進化し、そしてあるものは消滅してきました。熱帯林の破壊や人間による乱獲が、自然のそれとは比べものにならないくらいのスピードで、生物の消滅を招いています。

地球の温暖化は、工場や自動車から排出される二酸化炭素や窒素、硫黄酸化物をはじめとする温室効果ガスの増加によって起き、これらのガスは、私たちの活動が盛んになるにつれますます増加します。

気候変動に関する政府の資料によると、温室効果ガスの濃度が現在の増加率で推移した場合、地球全体の平均気温は、二〇〇五年までに約一度、二十一世紀末までには約三度上昇し、海面上昇による都市の水没、農業・漁業への影響、水資源や大気への影響、自然界や人間社会の生態系が大きく乱れることが予測されます。

酸性雨

酸性雨は、石油や石炭などの化石燃料を燃やすことによって発生する硫黄酸化物や窒素酸化物が原因です。このガスは、大気中に放出された後、雲に取り込まれ、酸性度の強い雨や霧などとなって地表に降ってきます。この結果、湖沼が酸性化して魚が死滅したり、森林が枯れるなどの被害が出てしまいます。

酸性雨は、オゾン層破壊や温暖化ほど大規模ではありませんが、国境を越えて影響を及ぼす問題となっています。

オゾン層の破壊

オゾン層の破壊は、人工的化学物質であるフロンが原因です。フロンは、冷媒やスプレーに使われていますが、有害な紫外線を吸収して地球上の生物を守っている大気中のオゾン層を破壊してしまうため、紫外線の影響をもろに受け皮膚ガン等が増加するなど、健康障害が心配されます。

長年の観測から、南極上空を中心にオゾン層が減少しており、オゾン層の「穴」が年年拡大していることが分かり、世界に衝撃を与えました。

海洋汚染

人間が排出する不用物のうち、主に液体や固体の廃棄物が原因で生じる問題です。

海洋汚染は、私たち人間が海の浄化能力を上回る勢いで不用物を捨て続けてきたために起きた問題です。

有害廃棄物の移動

有害廃棄物の越境移動は、先進国で増大し、多様化した廃棄物が国境を越えてあてもなく運ばれるために、廃棄物の行き場がなくなり、適性な処理が行われないために、起きた問題がほとんどです。

熱帯林の破壊

人間の開発行為そのものが環境に直接影響をもたらしている問題です。

熱帯林は、過度な焼き畑耕作や不適切な伐採等により、一年間に日本の半分に相当する面積が、消滅し続けているといわれています。

五百万から一千万種ともいわれている地球上の野生生物は、自然が培ってきたプロセスの中で長い時間をかけて進化し、そしてあるものは消滅してきました。熱帯林の破壊や人間による乱獲が、自然のそれとは比べものにならないくらいのスピードで、生物の消滅を招いています。

砂漠化

砂漠化は、気候的要因のほか、草地の再生能力を越えた家畜の放牧、薪（まき）炭材の過剰な伐採など、アフリカや中央アジアを中心に、一年間に九州と四国の面積に相当する土地が砂漠化し、深刻さを増しています。

このように、地球環境の危機は、私たちの生活から出される廃棄物が主な原因となっています。私たち一人一人が出す廃棄物はほんのわずかですが、それもう限界にきています。

私たちは、地球を苦しめる周囲にあるものを見直すことが大切です。

簡単な解決策はありませんが、まず家庭の中を見渡たし、自分でできることから始めましょう。

周囲を見直そう

自分にできることから

・担当　環境衛生業務課（内線五三〇）

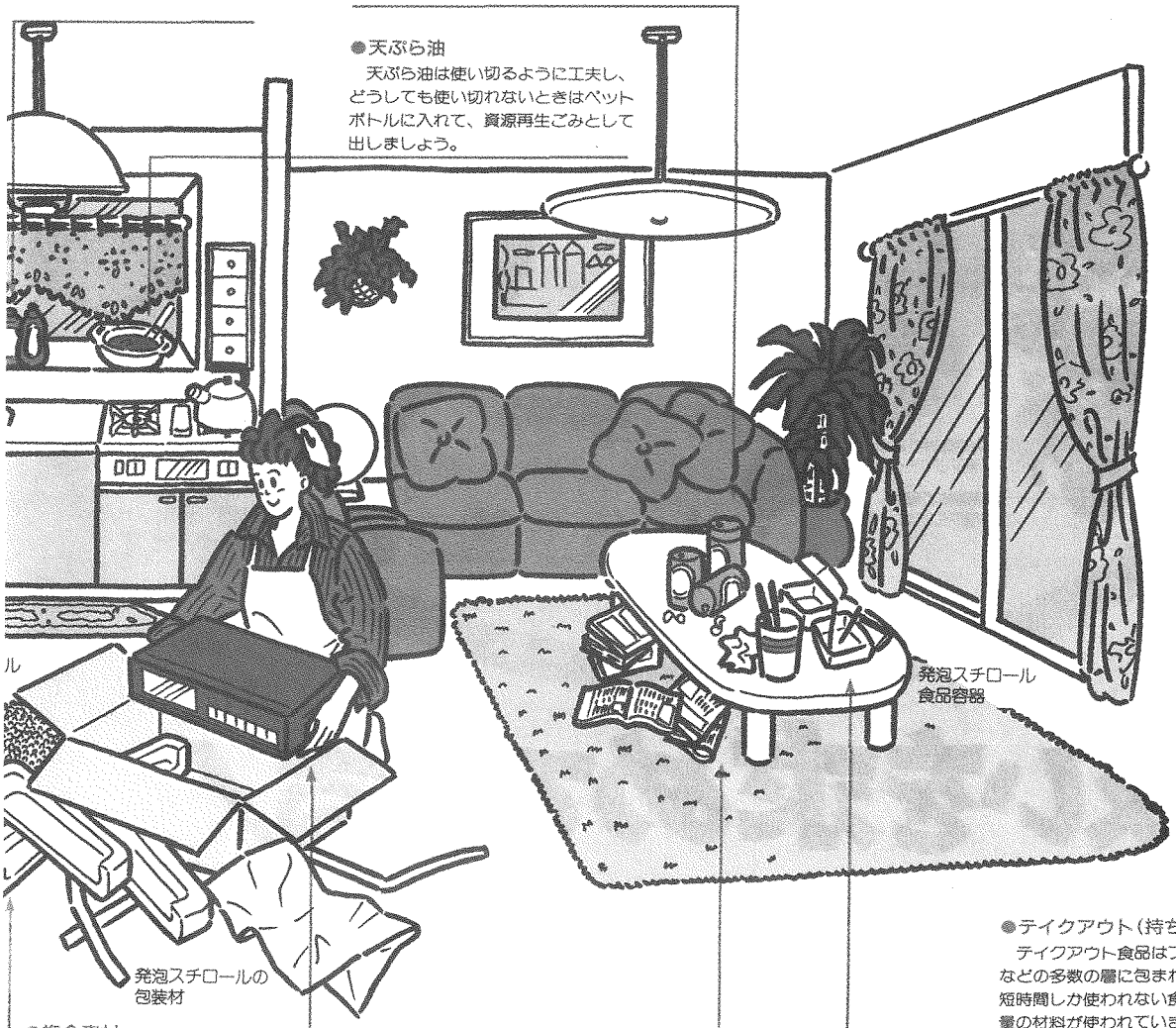
らす工夫をしよう

ライフスタイルを地球のために

●プラスチックの容器
家庭のごみの5分の1はプラスチックで、その大部分は包装に使われています。プラスチック容器より、再生利用・再使用できるびん容器を使いましょう。

●アルミ缶
アルミニウムは比較的新しいものですが、急速に家庭のごみの仲間入りをするようになりました。アルミ缶は100%再生利用することができます。アルミ缶1缶を製造するには、40Wの電球が10時間30分点灯するエネルギーに相当します。

●天ぷら油
天ぷら油は使い切るように工夫し、どうしても使い切れないときはペットボトルに入れて、資源再生ごみとして出しましょう。



●テイクアウト（持ち帰り）食品
テイクアウト食品はプラスチック、紙などの多数の層に包まれています。ごく短時間しか使われない食品に対して、大量の材料が使われています。

●複合素材
多くの家庭用製品は、プラスチック、紙、金属などを複合させた分離できない素材で包装されています。単体素材で包装されたものを買いましょう。

●電化製品
電化製品、子供のおもちゃなどは少し修理すれば直るものが多くあります。できる限り修理して使いましょう。

●新聞と雑誌
生活必需品である紙はリサイクルが簡単ですが、1年間分の新聞をごみ箱に捨てると、90kg無駄にすることになります。

資源ごみの出し方

資源再生ごみは、牛乳パック、新聞、雑誌（その他名刺以上の紙、段ボール、布類、ガラス類、金属類、天ぷら油に分けてきちんと出してください。

なお、各集積所では、資源再生ごみと燃せないごみの収集日が違いますので、「収集日カレンダー」を確認のうえ、出す曜日と時間帯（当日の午前7時～8時30分）を必ず守ってください。

【古紙】
▽対象　新聞、雑誌、段ボール、ちらし、包装紙、紙袋、紙箱、ノート、メモ用紙、はがき、牛乳パック、名刺など
◆出し方
・新聞、雑誌、段ボールはそれぞれでまとめ、そのほかの物は紙袋や段ボールの中にきちんと詰めて出す
・箱類は開いて体積が減るように
・ビニール袋は使わず、紙袋か段ボールを使う
・ティッシュなどの箱は、ビニール部分を取り除いて出す
・牛乳パックは洗って切り開き、乾燥させて出す。雨の日は出さない
・収集に支障となるので、びん、缶のコンテナの上に載せない

【金属類】
▽対象　空き缶、やかん、なべ、釜、トタン板、鉄くず、非鉄くず、トースター、自転車、三輪車、石油ストーブ、ガスレンジ、ファンヒーター、そのほか鉄でできている物
◆出し方
・スプレー缶は穴をあけてから出す
・ペンキ缶は完全に中身を取り除く
・アルミ缶は折り曲げ、大きな缶は平たくなるようつぶす
・刃物は紙に包んで、中身を表示する

【ガラス類】
▽対象　びん類、灰皿、花びん、ガラスでできている食器など
◆出し方
・栓はあってもよいが中身は必ず取り除く
・専用コンテナに表示してある赤いラインまでとし、入れ過ぎない

【布類】
▽対象　衣料品、ぼろ布、カーテン、毛布など
◆出し方
・しばって出す
・ぬらさない（雨の日は絶対に出さない）

【天ぷら油】
▽対象　サラダ油、コーン油、紅花油などの料理油
◆出し方　油かすを取り除いた油をペットボトルに入れ、専用コンテナに出す

ごみの出し方あれこれ

ごみを減ら

ごみだらけの家

家庭の中のごみには二つのタイプがあり、壊れた電化製品、古い家具、すり切れたじゅうたんなどの時々しか出ないごみと、包装紙、空きびん、空き缶、新聞紙などの毎日の生活から出るごみに分かれます。

前者は近代的生活の避けることのできない結果ですが、後者は家庭のごみの大半を占めており、お互いが注意すれば減らすことができます。

今すぐ始めよう
家庭のごみを減らす7つのポイント

★修理できるものは直して使おう

家庭用の電化製品、子供のおもちゃなどは修理すれば直るものが多いものです。ちょっとした工夫でごみにならずにすみます。

★ごみを混ぜない

紙、ガラス、金属、有機物などをそれぞれリサイクルできるように、別々のごみ箱を持つのが理想的です。

★過剰包装をやめる

最も少量の包装に入った品物を選びましょう。また、買い物には買い物袋を持っていくのも良い方法です。

★使い捨て商品は使わない

割りばし、紙コップなど、1回で捨てるものは使わないようにしましょう。

★再使用できる容器を選ぼう

例えば、缶よりびんのほうが再使用できるものが多い。できる限り再使用できるものを選びましょう。

★天然素材でできた包装を選ぼう

包装は再生して利用することのできる紙や段ボールのものを選びましょう。

★衝動買いをしない

品物を買うときは、後のことをよく考えてから買いましょう。

●ガラスのびんやつぼ

ガラスびんの原材料は豊富にありますが、1,000kgの完成品のガラスを作るためには、原材料を加熱するために140ℓの石油が必要となります。従って、びんを捨てることは相当なエネルギーの無駄遣いをしていることになります。

●分別していないごみ

家庭のごみをすべて一つのごみ箱に入れると、リサイクルはほとんど不可能となります。また、有機物と家庭用の化学薬品を一緒に捨てることは危険です。

●リサイクルボックス

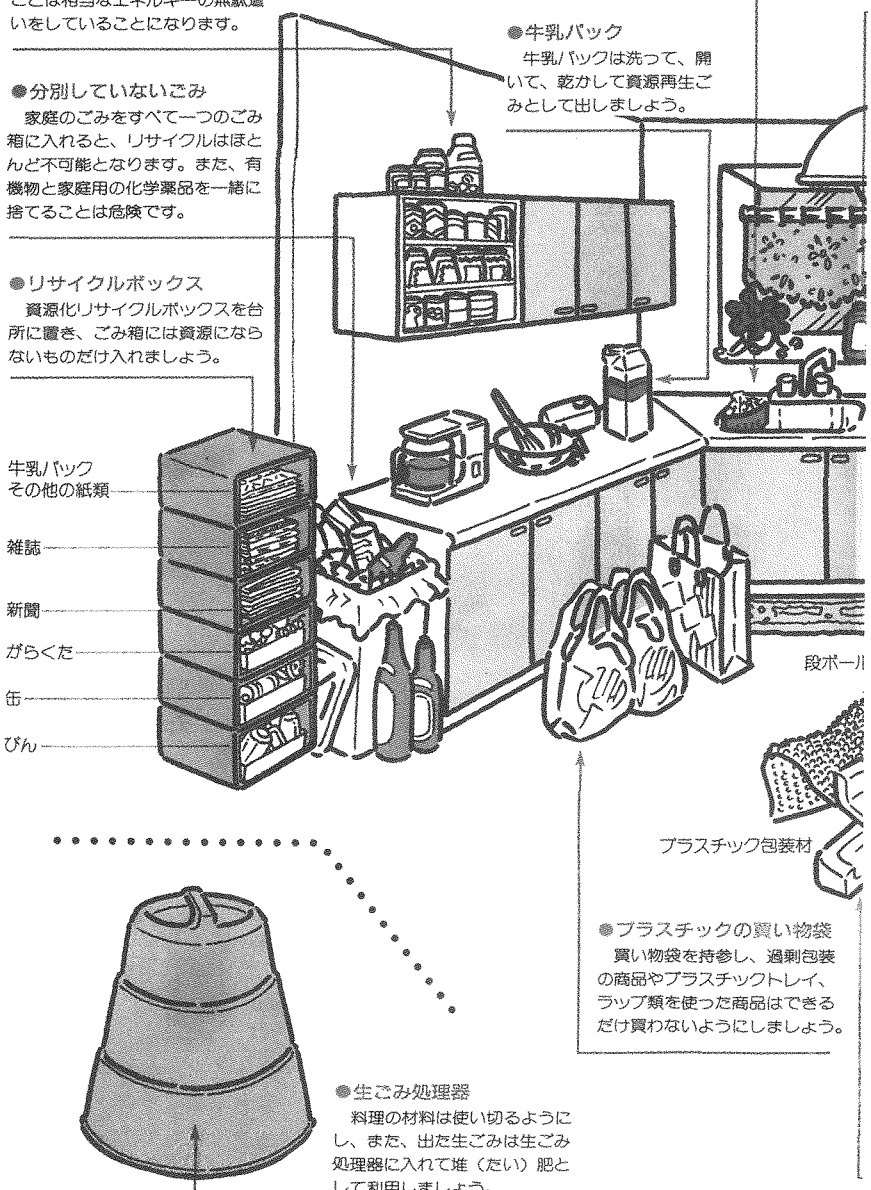
資源化リサイクルボックスを台所に置き、ごみ箱には資源にならないものだけ入れましょう。

●生ごみの三角コーナー

生ごみは台所の三角コーナーで水切りをしてから生ごみ処理器に入れるか、燃せるごみに出しましょう。

●牛乳パック

牛乳パックは洗って、開いて、乾かして資源再生ごみとして出しましょう。



●プラスチックの買い物袋

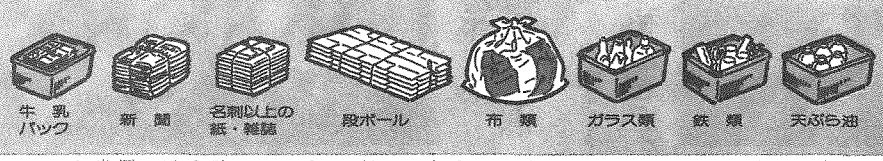
買い物袋を持参し、過剰包装の商品やプラスチックトレイ、ラップ類を使った商品はできるだけ買わないようにしましょう。

●生ごみ処理器

料理の材料は使い切るようにし、また、出た生ごみは生ごみ処理器に入れて堆（たい）肥として利用しましょう。

土から土へのリサイクル

資源ごみ分別の仕方



ごみは、大きく四種類（資源再生ごみ、燃せるごみ、燃せないごみ、臨時ごみ）に分け、それぞれの収集日に出していただいていますが、ごみの分別などについて、市民のみなさんからお問い合わせをいただくことがあります。最近いただいたお問い合わせのいくつかを紹介します。

◎ご質問　貝殻は「燃せるごみ」それとも「燃せないごみ」？

・お答え　「燃せるごみ」です。多少燃えにくいですが、少量であれば問題ありません。埋め立てると、貝の肉が残っているのでかえって問題が出てきてしまいます。

◎ご質問　ふとんは「燃せるごみ」それとも「燃せないごみ」？

・お答え　ふとん類はそのままの形では粗大ごみとなってしまい、集積所には出せません。「臨時ごみ」として環境衛生業務課に申し込んでください。なお、じゅうたん、マットレス、ござ、ふとんなどは、座ぶとんぐらいの大きさに切れば「燃せるごみ」として出すことができます。

◎ご質問　家庭電化製品を買い替えたのですが？

・お答え　古い家庭電化製品は、買い替えたお店に引き取ってもらってください。

◎ご質問　スキー靴とスキー板をごみとして出したいのですが？

・お答え　スキー靴は金属部品がついているため「燃せないごみ」に、またスキー板は「臨時ごみ」として出してください。

◎ご質問　自転車をごみとして出したいのですが？

・お答え　自転車は「資源再生ごみ」になります。自転車の本体に、「資源再生ごみ」と表示して出してください。

◎ご質問　集積所から回収したびんはどうなるの？

・お答え　資源回収協同組合の方々が、もう一度洗って再利用できる生きびんとカレットに分け再利用します。

◎ご質問　50ccのミニバイクは？

・お答え　「臨時ごみ」として出してください。なお、「臨時ごみ」は有料となります。

◎ご質問　蛍光灯、電球は「ガラス類」に？

・お答え　「ガラス類」は資源となるものをいいます。蛍光灯、電球、板ガラスは資源となりませんので、「燃せないごみ」として出してください。

使い切れない

天ぷら油は資源ごみへ

4月から実施

塗料や石けんの原料に

天ぷら油は、今までは固めの生活を苦しめるようになったり、吸わせたりした後、「燃せるごみ」として出していたのは、ここ十年来のことだといわれます。人類が誕生していますが、今年の四月てから、それまでは"物を大から、ご家庭で使い切れない切にする"ライフスタイルで天ぷら油に限って、「資源再した。ところが、便利さと豊生ごみ」として回収することかさを追求するあまり使い捨になりました。て社会を築き上げ、ごみが急

天ぷら油はリサイクルが難速に増え始めました。使い捨しそうに思われますが、きちて社会は、ごみ問題に限らんと分別していただくと塗料ず地球の温暖化、酸性雨、熱や印刷インキ、また石けんの帯林の乱伐など、地球環境問題原料に生まれ変わります。を引き起こしています。

なお、回収するのはご家庭地球にとって一番やさしで使い切れなくなった天ぷら いライフスタイルは、"使い切油で、業務用の天ぷら油やエる"ということです。緑の地ンジンオイルなどの機械油は球を守るため、天ぷら油は使回収しません。もし、これらい切るよう心掛けてください。の油が入ってしまうと、回収そして、どうしても使い切れされた貴重な油が資源として ない天ぷら油だけを、資源再活用できなくなってしまいます。生ごみの日に出してください。

ごみが今日のように私たち

天ぷら油を出す時はペットボトルを利用してください

天ぷら油の使い方

天ぷら油の出し方

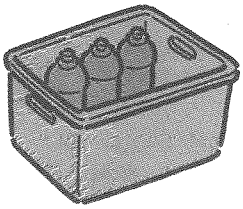
①ペットボトルを1本用意してください

ペットボトルのほかに、しょう油等の容器でもかまいません。ピンは使わないでください

②天ぷらかすを取り除いた後、じょうご等を使ってペットボトルの中に入れてください

ペットボトルに入れるときの用具としてはじょうごのほかにマヨネーズやケチャップの容器を切ったものを使うと便利です

③きちんとふたをして天ぷら油専用の容器の中に置いてください



約1㍑位たまったら出してください

天ぷら油の使い方

まだ使える天ぷら油を捨ててはいませんか。

油の「酸価・過酸化物価テスト」や「風味テスト」でも揚げ油は繰り返し（六～九回）使えるとの結果がでています。一度、揚げ物をした油は野菜いためなどに使ったり、次回に揚げ物をするとき、新しい油を加えるという方法も使い切るのに有効となります。ぜひお試しください。

天ぷら油を捨てないで

天ぷら油五百ccを河川や下水に流してしまうと、魚が住める水質（環境基準値一㍑中、BOD五㎎）に戻すための一番の要因となっているのには、ふろおけ（一杯三百㍑）が分かります。

BODとは

◎BOD（生物化学的酸素要求量）

水中の汚濁物質（有機物）が微生物によって酸化分解されるのに必要な酸素量のことで、河川の汚濁指標を示すのに用いられています。環境基準値では、一㍑中五㎎となっています。

コミュニケーションプラザ

地球にやさしい資源化をテーマとした環境展を開きます。

☆期間　3月24日（水）～30日（火）
☆時間　午前8時30分～午後5時
☆会場　市役所市民ホール
☆内容
- ごみの資源化リサイクル標語とポスターの展示
- パネルクイズ
- 環境を考える立体模型4点（中原中学校生徒作品）
- 缶圧縮器の展示ほか

☆問い合わせ先　環境衛生業務課業務係（内線530）

地球環境を守る

少年団の団員を募集中

地球環境少年団の団員を募集しています。

みなさんは地球のことを考えたことがありますか。

私たちの住んでいる地球は、動物、植物、土壌、水、大気など、お互いにかかわりあいを持ちながら人間と動植物が住めるただ一つの惑星です。

その地球が今、重い病気にかかっています。「大気汚染」「オゾン層の破壊」「地下水汚染」「酸性雨」「あふれるごみ」など、このまま放っておくと地球上の動植物は死滅してしまうことになります。

地球環境少年団では、大切な地球を守るために、分かりやすい勉強会（映画、ビデオ学習など）や、野山の自然観察会を開いて、地球のかかっている病気の原因を考えていきます。ぜひご参加ください。

▽活動内容　勉強会、観察会、実験、話し合いなど、自分たちの地球環境を守るにはどうしたらよいかを考えます

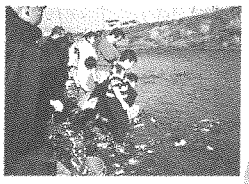
▽集まる日　月2回
・第2土曜日　勉強会
・日曜日　観察会

▽参加できる方　市内の小、中学生（低学年は父兄と一緒でも参加できます）

▽会費　無料

参加を希望される方は、はがきに住所、氏名、電話番号、学校名、学年を記入し、〒254平塚市浅間町9－1　平塚市環境衛生業務課内「ごみの資源化フェア実行委員会」まで送ってください。

私たちにできること



地球環境少年団では、勉強会で"私たちにもできる地球を救う簡単な方法"をみんなで考えてみました。

地球環境の破壊を防ぐには、小さなことですがまず身の回りの環境を汚さないことだと思います。

【台所では】

①調理くずや食べ残しを流さない
②調理するとき、食べられる分量以上は作らない
③米のとき汁などは植木や畑の散水に利用する
④鍋や皿の汚れは紙などでふき取ってから洗う

【洗濯やふろ場では】

①洗濯をするときは石けんを正しく計り、使い過ぎない
②ふろの残り湯は洗濯や庭木などの散水に使う

【その他】

①朝起きたら外の空気をいっぱいすって、完全に目をさまさせ頭を洗うとき水を無駄に使わなくてすむ
②学校の帰りに公園などを通り、空き缶を拾って帰る
③夕食のときはテレビを消して食べる
④寝る前に今日出したごみについて考える。自分はごみを食べることができない。地球も同じだ
⑤早寝をして節電する